

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 153

Junio 2014

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・ Fru-somera Kunlog[^]ado de HEL 2014/
2014 年度北海道エスペラント連盟初夏合宿案内 P. 2
- ・ Esperanto sur j[^]urnaloj/ 新聞記事
 - (1) どっこい生きてるエスペラント P. 3
 - (2) 苫小牧エスペラント会 P. 4
 - (3) ピアニスト ホキ徳田さん P. 6
- ・ Danke ricevitaĵoj (星田淳扱い) P. 7
- ・ Laste aperis: Esperanto estas "mia universitato"/
新刊紹介: エスペラントは「私の大学」だ
/三ツ石清 P. 8
- ・ Protokolo de la 4-a Komitato Kunsido .../
2014 年度第 4 回 HEL 委員会議事録 P. 9
- ・ [編集後記/Redaktanto parolas] P.10

2014年度北海道エスペラント連盟初夏合宿案内

前号で案内を出しましたが、市民向け入門講座の案内文を追加します。
家族や知人で関心を持っていただける方を誘ってください。

エスペラント語をはじめてみませんか？

「エスペラント」は、世界の人々が平等に話し合える事を目的に作られた国際語です。130年近くの歴史があり、毎年世界のどこかで「世界エスペラント大会」が開催されています。宮沢賢治が「岩手」を「イーハトーヴ」とエスペラント風に記したお話を讀んだことのある人も多いと思います。

2014年度北海道エスペラント連盟初夏合宿（学習会）では、市民向け入門講座を開催します。あなたも参加してみませんか？

北海道エスペラント連盟教育部 阿部映子

日時：2014年6月21日（土）13:00～22日（日）12:30
会場：柴田内科循環器科研修センター（札幌市西区西野1条7丁目）
（西野皮フ科クリニック駐車場の横です）
地下鉄宮の沢駅から徒歩15分弱、JRバス西野2条6丁目から
徒歩10分弱、JRバス西町北17丁目から徒歩5分強です。

クラス別：

入門：一般市民向け。エスペラントのアウトラインを説明します。

（担当：阿部映子）

初級：文法、読解、作文中心（担当：横山裕之）

中級：教材をいっしょに読み、なるべく会話を通じて理解する

（担当：星田 淳）

時間割 6月21日（土）12：20から受付（持参者は会場内飲食可）
13：00～13：15 開始時説明、クラス分け、部屋移動
13：15～14：35 学習（20分休憩）
14：55～16：20 学習（20分休憩）
16：40～18：00 学習（15分休憩）部屋を移動
18：15～18：35 全員（入門・初級・中級以上）で歌
6月22日（日）
8：30～9：45 学習（15分休憩）
10：00～11：15 学習（15分休憩）部屋を移動
11：30～12：30 全員で感想発表や歌 12：30 解散

参加費：資料代として500円

会場での宿泊可能（宿泊費500円、食事提供なし）

持ち物：筆記用具、ノート（宿泊する方は着替え、洗面具など）

その他：駐車スペースに限りあり、なるべく公共交通機関を利用下さい。

参加を希望される方は、6月15日までに、阿部映子

までご連絡ください。

〒060-0042 札幌市中央区大通西9丁目3-13-602

電話・FAXは011-271-8908です

都合により、どちらか1日しか参加できない方や、時間的に途中からや途中までの参加も歓迎します。当日、事前連絡なく参加もできます。

(1)

どっこい生きてる エスペラント

19世紀に世界の共通言語として考案されたエスペラントは、柳田国男や新渡戸稲造、宮沢賢治らが学んだ。1960～80年代には多くの大学にエスペラント学習のサークルがあったが、最近さっぱり見かけない。どこに消えたのか。

「現在では想像しにくいかもしれませんが、冷戦時代には東西を結ぶ唯一の中立的な共通語がエスペラントだと考えられたのです」。日本の代表的な話者の一人、上智大学教授(社会言語学)の木村護郎クリストフ(40)はこう説明する。

エスペラントの魅力は、この言語を学んだ人のネットワークが世界中に広がっていること。旅行に出たら名簿を基に連絡を取り、自宅に泊めてもらったり、街を案内してもらったり。エスペラントで意思疎通は自由にできる。木村は昨年度、1年間ドイツで在外研究に携わり、その間10回ほど欧州各地に出張したが、エスペラント仲間に泊めてもらい、ホテルを使わなかった。逆に、世界中からの仲間を自宅に泊めることも多い。

家族の間でエスペラントを話す家庭も、日本にこれまで数十軒ほどあったという。ほとんどは、エスペラントのネットワークで知り合って国際結婚したケース。そのような家庭の子どもは、エスペラントと日本語のバイリンガルに育つこともある。

現在も10程度の大学でサークルや学習会が存続しているという。現代はネットで学ぶ人も多く、意外と衰退していないのでは、と木村は考えている。●(国末憲人)

[エスペラント]●1887年にユダヤ系ポーランド人医師ザメンホフが考案した人工言語。欧州諸語の語彙(ごい)を取り入れつつ、簡易な文法を構築し、民族の違いを超えて橋渡しとなる言語を目指した。話す人は世界に100万人ほど、国内に1万人ほどといわれる。

(朝日、2017.4.20)

苫小牧エスペラント会(苫小牧市)

楽



—tanoshimu—

【入会情報】 毎月2回ずつ、(ほぼ隔週の)火曜日18～21時に、苫小牧市文化交流センターや会員宅で定例の勉強会を開く。会費2000円。問い合わせは、メールで星田さん(hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp)へ。

苫小牧市文化交流センターの会議室。集まってきた4人の男女が机を囲んでテキストを開き、聞き慣れない言葉を聞き、聞き慣れない言葉で輪談を始めた。スペイン語とロシア語ともつかない、不思議な響きの言葉だ。今月13日夜に開かれた学習会の教材として使われたの

は、国際語・エスペラント語に翻訳された宮沢賢治の



短編「マリゴロンと少女」。参加者が一文ごと日本語に訳していくと、講師役を務める代表の星田厚さん(83)が途中で丁寧な解説を加えた。

「ラウドン、メリータス、アンカウ、ビ、サーメ」を直訳すれば「称賛に値するのはあなたも同じだ」。賢治の

人工言語で世界と交流



エスペラント語のテキストを輪読する会員たち



教材に使われている宮沢賢治の「銀河鉄道之夜」エスペラント語版(右上)や雑誌など

2 エスペラント語 ロシア領だったポランドでユダヤ人の眼科医師ルドビコ・ザメンホフが欧州の各言語をもとに考案し、1887年に発表した人工の言語。やさしい共通語を使うことで国家や民族の壁を超えて争いをなくそうという理想が込められ、名称はザメンホフが名乗ったペンネームのエスペラント（希望する人）にちなむ。アルファベットを使い、母音の発音は日本語と同じ「a、e、i、o、u」の五つ。文法は簡明だ。日本でも「葉亭四迷」新渡戸程造らが普及にかかわり、宮沢賢治も作品中でエスペラント語の影響を受けた地名や人名を多く用いた。

は、戦後間もない熊本市での学生時代、古本屋で手にした一冊の入門書だった。その後、製紙会社に入社して苫小牧に転勤し、1960年にこの会を創設した。後で調べてみると、戦前の苫小牧ではエスペラント語の学習が盛んで、同様のグループが活動していたこともわかった。

冷戦、内戦時にも情報伝わる

原文は『それはあなたと同じです』で、エスペラント語訳の方が論理的に表現しているとわかります。

物語の終盤で野島のエズが鳴いて飛び立つ場面では「北海道のエズは、こんな鋭い鳴き方をしないような気がするな」と感想を口にす人も。和気あいあいとした雰囲気の中で、夫妻で参加していた影浦英明さんと泰子さんが、エスペラント語でひそひそと会話を交わした。

人は50年来の会員で、この会で出会って結婚した。泰子さんは「昔は子どもたちに『分からない言葉で話さないで』とよく言われたものです」と笑う。今も夫婦間の会話にはこの言葉を使うことが多いという。

代表の星田さんがエスペラント語を学び始めたきっかけ

会では月2回の学習会のほか、欧州、アジア、アメリカなど世界中のエスペラント（エスペラント語の使い手）と交流を続ける。通信手段は文通から電子メールへと変わってきたが、市民同士が国境を超えて各地の情報を伝えるのは同じだ。

東西冷戦の当時、星田さんらのもとには、共産圏の人々から政府の宣伝と違ふ個人の考え方が伝えられた。肉弾下の旧エーゴスラビアからは、空襲直後の様子を知らせるメールも届いたという。

現在の会員は10人ほど。30歳代の会員もいるが、学習歴の長い中高年の人が多く、会には新メンバーを増やすため入門講習会も開いている。星田さんは「覚えやすい言葉で、世界中の人とつながることができますよ」と参加を呼びかけている。（光山敏之）



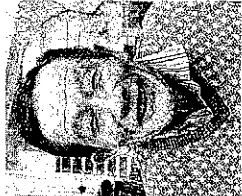
— 活動内容を教えてください。

「初級と中級に分けての輪読が中心。国際大会などで知り合った海外のエスペラントとメールなどのやり取りをしたり、エスペラント語の情報を提供したりもしています」

— 道内の活動状況は。「定期的な活動をしているの

初、中級に分け輪読

は札幌と苫小牧の二つの会。私が代表を兼ねる道内組織「北海道エスペラント連盟」では、会報を出したり、年1回の夏合宿を開催したりもしています」



「苫小牧エスペラント会」代表の星田さん

— 英語が国際語の役割を果たす現状もあるが、エスペラント語の将来は。

「欧州連合（EU）では公用語の一つに推す動きがあり、東南アジア諸国では近年、エスペラントが増えているそうです。国や民族の背景を超えた平等な言葉で、もっと知ってもらうため、私たちが活動を続けたいと思います」



元気の ひみつ

ピアニスト
ホキ徳田さん

ピアノと笑いの夜で

「ヘンリー・ミラーが愛してやまなかつた元妻は天性の自由人。彼の著作や芸術作品に囲まれた六木の会員制バー「北回帰線」で夜な夜なピアノを弾いて歌っている。「いろいろ考えると面倒くさい。料金は全部ひっくるめて1人5千円って決めているの」。店に来る時間も日によってまちまちという。

父徳田六郎さんは国際連盟勤務を経てNHKの解説委員となり、エスペラント語の普及に尽くした。幼少時から英才教育を受けてカナダに音楽留学。ピアニスト、歌手、女優として活躍した後、渡米し、ハリウッドのバーで弾き語りをした。46歳年上のミラーと出会い、熱烈に求婚される。「当時、彼はもうおじいちゃん。周囲から「面倒見てあげなよ」と言われて、実質的な夫婦生活はなし、って話で結婚したの」。酒と卓球が大好きな夫につきあい暮らす。

体が丈夫。70代でマイコプラズマにかかるまで病気になる

東京都出身。3歳からピアノと音楽を学ぶ。1965年、渡米。67年、作家ヘンリー・ミラーと結婚する(78年、離婚)。現在、バーを経営するかたわら、ラジオInterFMで「ホキ徳田のYummy Music」に出演している。著書に『文豪夫人の悪夢』『ヘンリー・ミラーの八人目の妻』がある。

「ことがないという。いまも興に乗ると午前2時、3時まで歌うこともある。その元気の源は「うーん。弾き語りかな。指先を使うから脳にいいし、声も出すじゃない?」。あそれから」といった。「店が自転車操業というのもあるかな。お金に苦労しているのジャンとするわ」。じや、1曲弾くかねとピアノに向かう。このユーモアと笑顔に文豪はマイったのだろう。

文・大嶋辰男
写真・早坂元興

Danke ricevitaj (星田洋抜い、読みたい方はご連絡ください)

* Novaj^oj Tamtamas; n-ro 292/aprilo 2014, Internacia Gazet de Jokohama Esperanto-Rondo(JER, Hama-Rondo) A4X4 頁、エスペラント(E)文。第1頁は会((JER)の活動報告、2~3頁の ESEOJ に Ankorau ne esperantigitaj Fabeloj de Eroŝenko がある。エロシエンコが日本語で書いた作品をエスペラント訳しようという呼びかけ。4頁の Armand Su, aŭ Ĉina IU は中国の文化大革命時代の受難の詩人について。

* La Tamtamo; 第464号、2014年4月、横浜エスペラント会(JER)発行。A4X8 頁、日本文。読書会報告では Poemoj de Armand Su についての感想が3人から2頁半。

* La Vulkano; N-ro 172 Aprilo 2014, 福岡エスペラント会発行、B5x12 頁のうち E 文 6 頁半。巻頭の E 文は Ges-roj Amis el Kanado の案内記。第100回日本大会、98 回世界大会、釜山での韓国のエスペランティストとの交流など、訪問記が多くカラー写真がいい。

* Mejlŝtono 2014 majo, n-ro 243, 仙台エスペラント会。6月の仙台緑の合宿の予告、「潮地ルミさまからご寄付がありました/後藤斉」は JEI 創立にかかわったエスペランティスト、故松崎克己の長女からのたよりについて。

* La Movado: 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro 759 majo 2014, B5x16 頁のうち E 文 6 頁強。巻頭記事は今年第101回日本エスペラント大会を迎える小浜市の実行委員長、実はただ一人の現地働き手、北川昭二さんの文。人口3万の小都市だから小規模の会合でも効果がある、地方の特色が出せる、という開き直りの意欲がいい。モバード俳句(Rondo Hajkista)は連載40回目、10人から25句、と盛況。Enamigiĝis al Amolingvo/Reza Pahlevi は4年前に E を学び始めたインドネシアの学生の報告。Vortaro por lernantoj は筆者 Laulum

が亡くなってもう2年近いが遺稿を連載して140回目。時事用語を紹介する Kurantaj Vortoj, 今回は STAPP 細胞、iPS 細胞など。

* NOVA VOJO: N-ro 506 majo 2014, EPA(エスペラント普及会)、A5X34 頁のうち E 文 8 頁。「第24回国際エスペラント合宿報告」は4月北九州で41名の参加者を得て行われた合宿について。この合宿についてのカラー、白黒の写真が各1頁掲載されている。

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo) Majo 2014 N-ro 264, B5X20 頁のうち E 文 6 頁半は EVENTOJ EN ZAOZHUANG/Sasaki T. と Tropaca kaj trotolerema popolo/ Bill Mak. 「目黒自主グループ発表会と目黒エスペラント会/熊木秀夫」は目黒区文化祭でのエスペラント会の活動報告について。

* Novaj^oj Tamtamas; n-ro 293/majo 2014, JER, A4X4 頁、エスペラント文。ESEO 欄の Ĉirkau "Printempo en la Autuno"/Aida Yayoi は Armand Su, Julio Baghy, Majorie Boulton などの作家の相互の影響がうかがわれて面白い。BELETRO 欄の Sovag^oa rozo(野ばら)は小川未明の作品の翻訳。

* La Tamtamo; 第465号、2014年5月、JER 発行。A4X8 頁、日本文。JER の学習会などの予定表を見ると5月中旬~6月の間に14日29件が書き込まれている。校歌にエスペラントが入っている学校が東京、埼玉に2校見つかри、6月の関東大会で歌う、とのこと。「ミスレル修道士(120年前日本に初めてエスペラントを伝えたフランス人)の墓を訪ねて/牧野三男」は地図、写真入り。

* 受講生通信; 第154号、2014-06-01、沼津エスペラント会、B5X14 頁のうちエスペラント文1頁強。いつもながら掲示板、行事予定表がよくまとまっている。記事の大部分は受講生との交信。

Laste aperis: Esperanto estas "mia universitato" /

MITUISI Kiyosi (prononcu: micuis[^]I kijos[^]i)

新刊紹介: エスペラントは「私の大学」だ / 三ツ石清

HOS[^]IDA Acus[^]i

2014年5月31日発行だから最新刊です。実は私、この本の編集を手伝っていたから出版と同時に受け取ったのですが。

三石さんはある時期日本のエスペラント界では[名物男]でした。「放浪者をもって自任する」と書いている通り全国各地に出没(?)して samideanoj を訪ねエスペラント界の情報を交換してまわり例会に出るとその主役になってしまう。KLEGの宮本正男がそのころ「話題がなければ三ツ石清」と言うほどでした。

若い時から山とスキーが大好き、その当然の結果か植物観察に熱心だった彼にとって北海道はあこがれの大地だったようです。初めて北海道に来たのは1950年代中ごろか。釧路、小樽、札幌、苫小牧等を回って多くの esp-istoj と知り合い、これ以後何度も来道しました。北海道の山好きな仲間たちと一緒に大雪山に登りエスペラントの道標を立てたこともありましたね。

この本の内容ですが「三ツ石清さんが雑誌などに寄稿したものなどを集め、3つのテーマにまとめたもの」と「まえがき」に出ています。「3つのテーマ」とは

1. 自伝: 自分の人生、近況などについての文
2. 付きあった多くの人についての文
3. 運動: エスペラント運動についての意見、批評など

で、全部で八十あまりの標題が出ています。

北海道の人の名は私を含めかなり出ています。彼が最後に参加した北海道での行事は1993年岩見沢市法然寺での「エスペラント文学」の講義でした。

変形A5判(210X128mm)、223頁、著者: 三ツ石清、編集: 中山欽司、発行: リバーロイ社、本体価格1500円

JEI(日本エスペラント協会)、KLEG(関西エスペラント連盟)を通じて注文できます。

Protokolo de la 4-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2014/04/21
2014年度 第4回北海道エスペラント連盟委員会議事録

日 時 : 2014年4月20日(日)13:00~15:00
場 所 : 札幌市民活動サポートセンター ミーティングコーナー
出席者 : 星田、阿部、横山、後藤(純) 後藤(義)記

<組織>

- ① 新規加盟者、退会者なし
- ② 会費未納者17名、次回機関誌送付時に振込用紙同封する
- ③ 名簿整理のため[file maker PRO]を購入する(8,000円)

<広報>

- ① Home page アクセス数70,491(前回+137)

<メール・マガジン>

- ① 3月7日、161号発行 部数445部

<情報・宣伝>

- ① 春の合宿をマスコミ関係に要請する
- ② Lプラザ と かでる27 に3折パンフと共に合宿案内書をおく、パンフは300部申し込む

<教育・研究>

- ① 札幌 ○学習会は内容変更なし、会話・輪読共に継続
○入門講習2名 豊平区在住の Saさんは切替さんが担当
西区の Seさんは後藤が担当
- ③ 苫小牧 ○宮沢賢治の「シグナスとシグナレス」は引き続き、新しく「マリブロンと少女」を始める
○5月入門講座の予定、受講者数は不明

<機関誌>

- ① 4月20日 152号を発行、20ページ、90部
- ② 即時発送は会員のみ、外国・交換機関誌は名簿再チェック完了しだい

<年間計画>

- ① 合宿計画 ○入門タイトルは「エスペラントを学んでみませんか」とし、
宿泊には触れない(阿部)
○文法・読解(横山)
○初日夜のみんなで歌う会は山形エス会の CD を使って行う
- ② 北海道大会 外国人ゲストは日本大会か九州大会参加者の中から選ぶのが良いのではないかとされる

<社会活動>

- ① 日露友好 チターエフさんの後、ウラジオ・エスペラント会では拠点としての場所は確保されている。後任者はゲンナジー・スレプチェンコ氏
- ② 先住民族・アイヌ連帯 『アイヌタイムズ』は継続購読する

<次回委員会>

- ① 6月15日 (日曜日)午前中機関誌印刷発行作業、午後1時から委員会

[編集後記/Redaktanto parolas]

* 使い慣れた Panasonic のワープロに寿命が来て止むなくパソコンソフト (MS Word) を使い始めたが不慣れのためあちこち見苦しいと思います。 Pardon! Bonvolu doni bonajn sugestojn kaj gvidi min en tiu teknika kampo, samideanoj-spertuloj!

* 押し詰まってきたころ雨降り続き編集のためコピー屋に行くのもままならず。書くつもりだった原稿も慣れない Word に時間取られて、今回は委員会議事録、合宿関係以外 会員からの原稿なし。 ページ数は最近の半分になりました。みなさん、原稿をよろしく。また、読みたい記事の希望も歓迎します。

* 「ピアニスト ホキ徳田さん」(6頁) は知らない方もあるでしょうね。ホキさんは雑誌記事などで昔は見ることができましたが 私の付き合いがあったのは s'ia patro, 徳田六郎さん。静岡のお宅にお邪魔したことがあります。Portland (Usono) の世界大会の後サンフランシスコで「ヘンリー・ミラーに会ってみませんか」と人を誘っていました。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、 青年会員 (26歳未満) 1500円、
購読会員 2000円、 家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organa Fako de HEL
c'e HOS^IDA Acus^i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS: 0144-74-2539

Retadreso: hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 143, Simin-Katudo-Sapoto-Senta
Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3
Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS: 0126-62-4636

Retadreso: nordano@sea.plala.or.jp

*TTT-ejo: <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Postg^irkonto (郵便振替): 02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

*編集: 連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

*事務局: 川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ
市民活動サポートセンター レーケズ No. 100